

第一回 博論執筆シンポジウム 2022 年 9 月度実施報告書

特別研究員 平原真紀

- 開催日時 : 2022 年 9 月 30 日 (金曜日)
開催時間 : 13 : 00~17 : 00 (録画視聴 : 同日 20:00~)
開催方式 : オンライン開催 (Zoom)
参加者 : オンライン 23 名、(録画視聴 4 名)
開催内容 : **第一部** 13:00~13:10 注意事項の伝達と開会のあいさつ
13:10~13:50 藤井嘉章 先生 ご講演
14:00~14:40 陳璐 先生 ご講演
14:50~15:30 平原による論文執筆メモの紹介
第二部 15:45~16:55 質疑応答・博論執筆シンポジウム
16:55~17:00 まとめ・今後の活動予定の紹介

質問内容 : (質問多数につき一部のみ記載)

- ・今まで大変だった時期・ことをどのようにして乗り越えましたか
- ・論理的な博論の書き方を教えていただきたいです。博論は論点が多すぎると思いますが、すべての論点を取って説得力がある論文の書き方を教えていただきたいです。
- ・卒業する見込みを立てた方がいいのでしょうか。もし一年間半後に(四年目で)卒業したいなら、今からどんなペース・手順でやっていくのか(例えば、各章の完成度や審査の準備など)、知っておくべき情報を教えて頂ければと思います。
- ・読んだ先行研究やメモをどのようにまとめ、整理されているのか(管理しているか)伺いたいです。私は現在、著書などを読みながら日本語に翻訳→つど気になったところをメモするようなレジュメを作っていますが、時間がかかってしまいます。
- ・もう一回博論を書くことがあったとしたら、どのようにアドバイスしたいですか
- ・Burn out になったことがありますか。どう乗り越えたか教えていただきたいです。
- ・執筆中気をつけるところ 投稿論文 苦労したところ
- ・修士論文の内容を博論にも入れたいですが、注意点ありますか
- ・執筆スケジュールの管理について、どうしても後に伸びてしまいます。何か工夫されたことがあれば、教えていただけると幸いです。
- ・博士論文執筆祭、研究方法及び分析方法の選び方についてアドバイスが欲しい。
- ・博士論文テーマの適当性、博論テーマを変更するとき、指導教員の選定方法
- ・投稿論文についてですが、投稿先をどう探しますか。
- ・先行研究が多い研究対象だと、先行研究のまとめ方についての注意点や心得。
(私の場合は 70 年前から研究がなされて、膨大な研究成果が蓄積されています。)
- ・論文発表先の学術誌を選ぶ方法

- ・学会発表や博論審査プレゼンテーションの際、注意するところ
- ・修士論文と博士論文の書き方の違い、注意事項などについて教えて欲しいです。
- ・事前審査や本審査で、何が一番評価されるのか。博論として評価される点を教えて頂ければと思います。
- ・先行研究が膨大な研究対象だと、研究史における位置づけが難しいと思いますが、それでもその自覚をはっきりさせるために、そのまとめ方の注意点や心得を教えてください。
- ・校正についてです。外国語で論文を書く際に、日本語の校正・校閲は、どのように行うのでしょうか。例えば、指導先生に頼むことなのか。また、校正はすべてが終わった後にした方がいいか、それでも書き終わった部分について、少しずつやっていくのか。
- ・外国人研究者のメリットは、特に外国人として外国語を研究するのにあたって、そのメリットはどこにあるのでしょうか。
- ・普段の文献管理に関して、先生たちの心得などを教えていただきたいです。
- ・学年（3年）が満了してたら、学費減免の申請や、奨学金の申請などができますか。満了した後、学費を払って学校で論文の執筆をつづけるのが効率的でしょうか。
- ・参考文献や資料の管理方法や工夫点など

ほか

次回開催予定 : 是非今後とも継続してほしいとの要望を多数いただきました。
できれば毎年定期的に開催できればと考えています。
毎年4~5月の入学・進学直後に。
またご相談させてください。

特記事項 : ご講演予定だった吉林大学准教授 解先生が、
国内の政治情勢により Wi-Fi の確保ができず欠席。
このため、一部予定を変更して開催しました。

以上の通り、実施内容を報告いたします。

2022年10月3日
実施者 平原真紀

AGS-TUFS Event Report
The 2022 Symposium on Doctoral Dissertation

Date: September 30, 2022

Time: 13:00-17:00 (Time-Shifting: 20:00-)

Place: Zoom (online)

Number of the Audience: online: 23, time-shifting: 4

Contents:

Part 1: 13:00-13:10 Opening ceremony

13:10-13:50 Presentation by Ph.D. Fujii Yoshiaki

14:00-14:40 Presentation by PhD Chen Lu,

15:30-16:00 Introduction of the notes for the doctoral dissertation

Part 2: 15:45-16:55 Q&A and symposium on doctoral dissertation

16:55-17:00 Closing ceremony and schedules of future events

Questions:

-How to overcome the difficulties in researches.

-How to write a logical dissertation/How to organize the points in a logically convincing way.

-How to make a schedule for each period when writing a dissertation

-How to rearrange information and points into a literature review.

-How to cope with burnout.

-How to decide the methodology of the research.

-How to prepare for the conference or the oral defense.

-How to find a publisher for paper submission.

Among others

Next Event: If possible, the event should be held in April or May on an annual basis.

Notes: Due to the political situations in China, Professor Xie Fang from Jilin University was unable to find available accesses to the network to attend the event.

The event was held as noted above.

October 3, 2022

Maki Hirahara